

ワークショップ
装いと規範 第2回

日時：2019年2月9日(土)13:30-17:40

場所：京都大学東南アジア地域研究研究所
稲盛財団記念館2階213号室(セミナー室)

プログラム

13:30-13:40 趣旨説明

帯谷 知可(京都大学東南アジア地域研究研究所)／後藤 絵美(東京大学東洋文化研究所)

13:40-14:30 報告1

ヴェールを纏う女性たちの語り

——現代パキスタン都市部におけるバルダ実践を事例として

賀川 恵理香(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程)

14:30-15:20 報告2

「伝統」を超えて

——現代トルクメン女性と民族衣装コイネック

岡田 晃枝(東京大学大学院総合文化研究科)

(コーヒーブレイク)

15:30-16:20 報告3

近代日本の国家主義・帝国主義とキモノ

森 理恵(日本女子大学家政学部)

16:20-16:40 コメント

後藤 絵美／帯谷 知可／酒井 啓子(千葉大学法政経学部)

16:40-17:40

ディスカッション

- 主 催：*新学術領域研究「グローバル関係学」(グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて——関係性中心の融合型人文社会科学の確立)B01「規範とアイデンティティ」(代表：酒井啓子)
- *京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS共同利用共同研究・個別ユニット「社会主義を経たイスラーム地域のジェンダー・家族・モダニティ」(代表：和崎聖日)
- 共 催：*京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS共同利用共同研究・複合ユニット「秩序再編の地域連関」(代表：村上勇介)
- *京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS共同利用共同研究・統括プロジェクト企画研究「アジア太平洋地域における変動動態と21世紀秩序の構築」(代表：帯谷知可)
- *京都大学東南アジア地域研究研究所環太平洋研究ハブ形成拠点(代表：村上勇介)